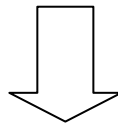


(別紙1)

行政改革大綱の骨格(案)

改革の 目標	1 非「成長・拡大」の時代に即したスリムで効率的な市役所の実現
	2 透明で持続可能な、自立した行財政基盤の確立
	3 市民・民間事業者との適切な役割分担による協働の推進



主要課題	具体的施策の体系	
1 事務事業の見直しによる新時代の新たな行政サービスの提供	1 行政評価制度等による監視機能の充実	ア 行政評価制度等による監視機能の充実
	2 事務事業の抜本の見直しと民間移管	ア 市の関与等の見直しと事務事業の統廃合
		イ 事務事業の民間移管
		ウ 既存施設・継続事業の見直し
	3 事務事業の民間委託、事務事業フローの見直し	ア 事務事業の民間委託
		イ 電子市役所の推進
ウ 事務事業のフローの見直し		
4 定員管理等組織機構改革	ア 定員適正化	
	イ スリムで柔軟な組織体制の確立	
5 外郭団体の改革	ア 外郭団体の経営改革	
	イ 外郭団体の統廃合	
	ウ 外郭団体への施設管理委託の見直し	
6 指定管理者制度への対応	ア 旧管理委託制度適用施設の速やかな制度移行	
	イ 直営施設への制度活用	
2 財政の構造改革	7 人件費の適正化等	ア 給与水準の適正化
		イ 給与構造の適正化
		ウ 総人件費の削減
		エ 人件費負担の平準化
	8 公債費等の管理	ア プライマリーバランスの適正化
		イ 各種財政指標の適正化
		ウ 一時借入金利子の低減
	9 施設等の維持管理コストを意識した財政運営	ア 有効利用・他目的利用の促進
		イ 公共工事のコスト削減
ウ 維持管理体制の見直しによるランニングコストの削減		

	10 借地料・貸付料の見直し	ア 借地関係の解消に向けた検討
		イ 年次的減額交渉の徹底
		ウ 市有財産の売却及び貸付の推進
	11 負担金、補助金、繰出金の見直し	ア 法定外負担金、補助金の洗い直し
		イ 一部事務組合負担金の抑制に向けた検討
		ウ 特別会計に対する繰出金の見直し
	12 税・料等収納対策	ア 徴収率の向上
		イ 自主財源の確保
		ウ 滞納者に対する行政サービス制限の検討
	13 受益者負担の見直し	ア 既存の使用料手数料の見直し
		イ 行政サービス等における受益と負担の見直し
	14 連結決算への対応	ア 特別会計の財務内容の検証
		イ 特別会計保有土地の売却促進対策
		ウ 連結決算バランスシートの作成
	3 職員の意識改革	15 組織の活性化と職員の能力開発
イ 能力開発・人材育成の推進		
	16 人事管理システムの展開	ア 新たな人事評価システムの構築
4 行政の透明性の向上と市民との連携	17 予算編成システムの改革	ア 庁内分権化の推進
		イ 予算編成過程の公開と財務情報の積極的提供
	18 情報提供の強化と市民参画の推進	ア 積極的な情報提供による市民との情報共有化
		イ 市民参画のしくみづくりとその活用
		ウ 市民活動の支援と協働の促進